



曲がりくねって、ただいま。
大阪府 豊能町
TOYONASHI TOWN

報道資料

令和6年11月29日

蜜蝋を使った『野菜クレヨン』づくりに挑戦！

11月29日（金）、豊能町立東能勢小学校（校長：高橋弘樹）の4年生（23人）が、「とよの未来科～東能勢 style～」の一環として、校区内で養蜂をされている吹上あおいさんの協力をえて、蜜蝋を使ったクレヨンづくりに挑戦しました。

11月29日（金）、豊能町立東能勢小学校（校長：高橋弘樹）の4年生（23人）が、「とよの未来科～東能勢 style～（※）」の一環として、家族が営む野菜加工工場や家を出た野菜の皮など使わない部分を児童が持ち寄り着色料の一部として使用し、蜜蝋を使った『野菜クレヨン』づくりに挑戦しました。

この活動は、子どもたちが社会の時間に「ごみについて」の調べ学習をしているときに『野菜クレヨン』を発見し、「作りたい！」と言ったことがきっかけで始まり、それを作るためには蜜蝋と野菜が必要だということになりました。

そこで、地域おこし活動をされている団体トヨノ部の方から、校区で養蜂をされている吹上あおいさんをご紹介いただき、蜜蝋や巣箱、防護服など実物を持ってきていただいて、養蜂についての事前学習を行いました。そして、今日、吹上さんから提供いただいた蜜蝋と野菜を使った『野菜クレヨン』づくりをしました。蜜蝋を溶かし、野菜等から作った着色料を混ぜ合わせ作成。完成した『野菜クレヨン』を使ってみた児童は「自分で作ったクレヨンでちゃんと色が出て嬉しい」などと話しました。

『野菜クレヨン』は学校内で行う作品展示会に展示し、その後、図工の作品作りに使用する予定です。



『野菜クレヨン』づくりに取り組む様子



完成した『野菜クレヨン』で試し書きをする様子

※「とよの未来科」とは、探究的な見方・考え方を働かせ、具体的な活動や体験、横断的・総合的な学習を行うことを通して、生活の場である身近な地域「とよの」への理解を深め、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力の育成をめざす学習のことです。「とよの」の教育資源を活用しながら学習し、様々な人々と触れ合う機会や体験を重視した活動を通して、「とよの」と自分に対する自信と誇りの育成をめざしています。

この件に関するお問い合わせは

◇大阪府豊能町教育委員会 義務教育課 担当：峯（TEL 072-739-3427 直通）

◇大阪府豊能町立東能勢小学校 担当：高畑（TEL 072-739-0016 直通）

●写真について（ギガファイル便）

<https://71.gigafile.nu/1206-857d67c158f7d7e2c2368f3812519926>

PASS : yasa